

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（8月現在）

令和5年8月16日

三八地域県民局地域農林水産部農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

（1）出穂状況

管内における出穂最盛期（50%進ちょく）は、平年より6日早い7月30日であった。

生育観測ほにおける「まっしぐら」の出穂期の平均は、平年より6日早い7月29日で、「つがるロマン」も平年より3日早い8月1日であった。

（2）刈取適期

刈取適期到達の目安である出穂後の積算気温960℃到達日は、7月30日の出穂期（管内平均）で9月9日頃からと予想される。

地域によっては更に早まることも想定されるため、ほ場毎の登熟状況に十分留意する。

（3）今後の対策等

ア 適切な水管理をする。

イ コンバイン、乾燥機等の保守・点検を行う。

ウ 適期内に収穫作業を終える。

2 大豆

（1）今後の対策等

べと病、アブラムシ類及び食葉性害虫などの病虫害は、発生状況を確認して適期防除に努める。8月中下旬にマメシンクイガ及び紫斑病防除を行う。

II 野菜

1 ながいも

（1）生育の状況

ア 生育観測ほでは、いも長、いも重とも平年を上回っており、いも径は平年並であった。病虫害の発生は見られなかった。

イ 普通栽培では、つるがネット頂に到達し、茎葉が繁茂している。病害は、一部ほ場で葉渋病、炭疽病が発生している。害虫は、ほとんど見られない。

表1 ながいも生育観測ほの生育調査結果（8月10日現在）

年 度	定 植 期			つるの ネット頂 到達日	7 月 10 日 現 在 (本年調査日:7月10日)			8 月 10 日 現 在 (本年調査日:8月10日)			
	植付期 (月日)	種いも の種類	萌 芽		いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)	いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)	
			始 め (月日)								揃 い (月日)
本 年 (平年比)	5/2 -9	頂芽欠	6/10 1	6/14 -1	7/7 -1	16.7 99%	7.3 86%	7.6 93%	52.3 113%	232.3 122%	36.4 100%
平 年	5/11	頂芽欠	6/9	6/15	7/8	16.9	8.5	8.2	46.1	190.9	36.3
前 年	5/8	頂芽欠	6/12	6/18	7/7	14.8	6.0	7.1	43.8	235.5	41.4

※栽植様式：うね幅 120cm、株間 22cm (3,787 株/10a)

※種子の系統：庄司、使用種子の種類・重さ：2年子・120～150g

※平年値は平成14年～令和4年の平均値

(2) 今後の対策等

- ア 明きよの設置等、排水対策を徹底する。
- イ 追肥は遅くても8月20日に終わるようにする。
- ウ アブラムシ類、ナガイモコガ、葉渋病等の予防防除に努める。

2 にんにく

(1) 令和5年産の生育経過と作柄状況

- ア りん片分化期が平年より10～12日早かった。その後の気温が平年より高めに推移したことから、収穫期が平年よりも5～9日早かった。
- イ 球径は、平年比89～103%、球重は、平年比77～110%、収量は、平年比79～110%となり、新郷村で平年を上回ったほかは、五戸・倉石・田子で平年を下回った。
- ウ A品率は、倉石・新郷・田子では平年に比べて高く、5割以上となったが、五戸では平年を下回った。
- エ 主な落等要因は割れと着色、りん片突出であった。
- オ りん片分化期から収穫までの積算温度は、白玉王（五戸・田子）が989～1,036℃、在来系（倉石）・園試系（新郷）が987～1,013℃であった。

表2 生育観測ほの収量調査結果

場所・植付日	年次	りん片分化期	収穫日	球径(mm)	球重(g)	収量(kg/10a)	等級割合(%)				備考
							A	B	C	外	
五戸町 上免内 (R4.10.1)	本年	4月9日	6月16日	59.2	65.2	1,086	42	29	12	17	白玉王 グリーンマルチ 積算温度 989℃
	(平年比)	(11日早)	(9日早)	(92%)	(88%)	(86%)	-17	±0	+3	+15	
	平年	4月20日	6月25日	64.1	73.8	1,259	59	29	9	2	
	前年	4月17日	6月22日	68.0	92.9	1,652	86	35	6	1	
旧倉石 又重 (R4.9.27)	本年	4月10日	6月18日	53.5	51.5	808	78	10	10	2	在来系 グリーンマルチ 積算温度 1,013℃
	(平年比)	(11日早)	(5日早)	(91%)	(77%)	(79%)	+33	-19	-13	-2	
	平年	4月21日	6月23日	59.0	66.7	1,020	45	29	23	4	
	前年	4月18日	6月16日	59.4	64.1	888	30	40	18	13	
新郷村 扇ノ沢 (R4.10.6)	本年	4月11日	6月18日	62.1	70.8	1,142	56	29	8	7	国試系 グリーン(無穴) 積算温度 987℃
	(平年比)	(10日早)	(5日早)	(103%)	(110%)	(110%)	+9	-8	-6	+5	
	平年	4月21日	6月23日	60.1	64.6	1,043	47	38	14	2	
	前年	4月19日	6月20日	64.5	82.2	1,248	39	40	17	4	
田子町 日ノ沢 (R4.10.2)	本年	4月10日	6月20日	57.6	63.4	1,057	60	19	19	2	白玉王 グリーンマルチ 積算温度 1,036℃
	(平年比)	(12日早)	(7日早)	(89%)	(92%)	(92%)	+21	-16	4	-8	
	平年	4月22日	6月27日	64.6	69.2	1,147	39	36	16	10	
	前年	4月19日	6月22日	68.4	91.3	1,522	58	33	8	2	

※積算気温のデータ 五戸・倉石：八戸アメダス、新郷・田子：三戸アメダス

注) 平年値について

五戸は、R3から調査地点変更

五戸：H13年～R4年までの過去22年間の平均値

旧倉石、新郷：H16年～R4年までの過去19年間の平均値

田子：H14年～R4年までの過去21年間の平均値 (H21, R2を除く)

等級割合はH24年～R4年までの過去11年間の平均値 (田子は上記と同じ)

(2) 今後の対策等

ア 土壌診断に基づく適正施肥を行う

イ 9月下旬から10月上旬までの適期に深さ7cm程度に植え付ける。

ウ 種子増殖「専用ほ場」を設置し、優良種子を購入して、計画的に増殖する。

3 トマト

(1) 生育の状況

ア 生育観測ほでは、9段目の開花期が8月9日で、平年より2日早く、現在4～5段目を収穫中である。7月第5半旬から8月第2半旬の高温により、4～5段花房に裂果の発生が見られる。

イ 病害虫は、一部で灰色かび病の発生が見られるほか、タバコガ類及びアザミウマ類による果実被害が見られる。

ウ 一般ほ場では、高温の影響で、落花や尻腐れ症状、裂果の発生が見られ、果実は小玉傾向となっている。

エ 病害虫は、葉かび病の発生が一部で見られるほか、タバコガ類、アザミウマ類による果実被害が見られる。

表3 生育観測ほの生育調査結果（8月10日現在）

年 度	定 植 時			着 果 状 況							
	品 種 名	定植期 (月日)	育 苗 ・ 活 着 状 況	1 段花房		5 段花房		7 段花房		9 段花房	
				開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)
本 年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/10 4日早	良好	5/17 10日遅	4.3 113%	7/1 3日早	2.5 96%	7/20 2日早	3.3 143%	8/9 2日早	(未定) %
平 年	りんか409	5/14		5/27	3.8	7/4	2.6	7/22	2.3	8/11	2.0
前 年	りんか409	5/10	良好	5/24	4.2	6/30	2.8	7/23	3.4	8/11	2.4

※栽植様式：畦幅 200cm、株間 40cm、条間 60cm、栽植株数 1,960 株/10a、
黒マルチ栽培

※平年値はH20～R 4年の平均値

(2) 今後の対策等

ア 生育・天候に応じたかん水・追肥を行う。

イ 日中の暑い時間帯は遮光資材でハウスを覆う。

ウ 病害は、葉かび病や灰色かび病の防除を中心に予防散布を徹底する。

エ 虫害は、アザミウマ類やタバコガ類の防除を中心に、早期発見、早期防除に努める。

III その他

1 農作業事故防止

農業機械の操作を行う際は、周囲の安全確認や、ヘルメット着用などの事故予防対策に留意する。また、思わぬトラブルが発生した場合には、まずエンジンを停止させる。

2 農作業中の熱中症対策の更なる徹底

農作業中の熱中症による死亡事故の8割以上が7月から8月に集中しており、熱中症リスクの高い時期であることから、①こまめに水分をとる、②こまめに休憩をとる、③暑い時には無理をしないなど注意する。

3 農薬適正指導

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

農薬は、周辺作物に飛散させないように適正に使用し、使用後は、栽培日誌、GAPチェックリストに忘れずに記帳し、出荷前の確認を徹底する。